

1. 勉学の状況

所属：工学部デザインコース 学年：4年

留学先：Köln International School of Design (Faculty of Cultural Sciences)

現在の学期：Summer Semester

曜日	履修科目・時間等
月	
火	Re: Re: Reareng
水	Self Initiated Projects
木	Re: Re: Reareng
金	

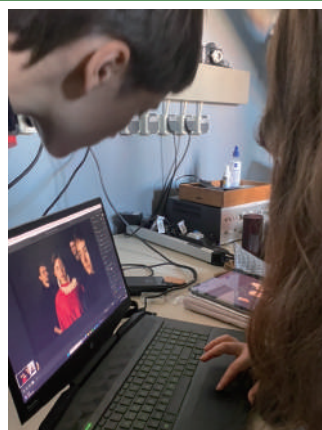
履修状況

- ①KISD essential (9/25~10/6)
- ②Cologne Resources (10/9~10/13)
- ③Re: Re: Reareng (10/17~12/8)
- ④From Service Design to Policcy Design (11/27~12/1)
- ⑤International Mentoring
- ⑥Self Initiated Projects (10/18~12/8)

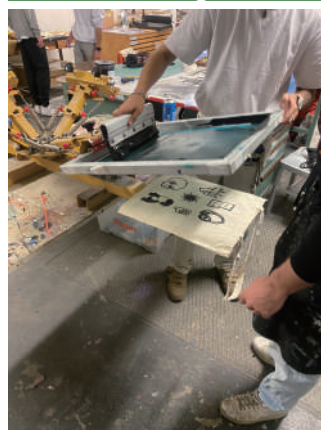
9/8~9/15が履修登録期間でした。留学生は優先順位が高いので9/1~履修登録ができます。私は9/8に行き、ほとんどの授業は登録可能でしたが、先着順なので人気の教授の授業ですでに埋まっているものもありました。しかし、ここで登録できなくても、初回の授業に出席すれば登録できる可能性は十分にあるとのことでした。KISDの授業形態は普通の大学と違い、プロジェクトごとに授業期間も時期も違います。気をつけることが多く複雑ですが、留学生に向けてのzoomが8月半ばから9月半ばにかけて複数回あり、丁寧に説明してくれます。また、全生徒にバディ(KISDの学生)がつき、なんでも相談できるので、先生はもちろん、バディが親身になって手伝ってくれます。気になる授業をとることができて、なんとか履修はひと段落しました。

9月21日にwelcom partyがあり、オリエンテーション・ケルン探索・自由時間(軽食付き)を行いました。9月25日からKISD essentialが始まりました。学生が利用可能な工房や施設を実際に使いながら紹介してもらおうイントロダクションです。

Photo Studio



Screen Printing



Food Lab



大学に来て感じたことは、たくさんの本格的な施設があり、幅広いデザインを学ぶ環境が揃っていること、そして学生は、先生との距離が近かったり、休みたい時に休んだり、かなりオープンな一方で、デザインに対してそれぞれ興味がしっかりあって真剣な面もあるなということです。また、先生や学生がとても優しく、置いてきぼりにならずに学べるので、今後わからないことは全て聞いて、アグレッシブに行動していこうと思います。

2. 生活の状況

●家での過ごし方

ケルンでの家探しはとても難しく、20~30通メールを送り、OKの返事をもたらしたのは1つだけでした。結果、私は現在ホームステイをしております。イラン出身のご家庭でホストマザーと娘さんがおり、またオーストリアから来たルームメイト（サウジアラビア出身）が一人います。みんなとても優しいです。また、ホストマザーが1週間に1度スーパーで野菜や果物を買ってきてくれるので、食費はほとんどかかりません。ルームメイトが調理好きで、よくみんなに食事を作ってくれます。しかし、私以外、みんな味は濃いめ&辛めが好きでいつも調味料をあとがけしています。中東の食文化でしょうか。また、ドイツでは外食は高いので家で食べることがほとんどです。ドイツではソーセージとじゃがいも漬けの食生活になるかなとも思っていたましたが、ホストファミリーはソーセージが好きではないようなので、こちらにきてドイツ料理を食べることは実は今の所ほとんどありません。



ホームステイをする上で困っていることとしては、ルームメイトのお金の使い方が少々荒く、食材など共有するものも躊躇いなく買い足してしまうことと、私の部屋にホストマザーの私物があるので、ノックをするのですが躊躇いなく入ってくることです。

●観光

大学が始まるまで日にちがあったので、ドイツのたくさんの都市に行きました。学生は15ユーロ払えば、ドイツ国内電車乗り放題（新幹線は乗れない）なので、トレインチケットを使って長時間長距離移動をたくさんしました。



ドイツで1ヶ月暮らしてみて感じたことは、見知らぬ人同士でも他人過ぎないことです。初めて会った人同士で話す場面や、困っている人に迷わず手を差し伸べる場面をよく見かけます。私も、スーツケースを持ってもらったり、大学のカバンを持っていたらバス違うよと教えてくれたり、駅までの道を教えにきてくれたりしました。もう一つは、道でも駅でも大学でも、みんなタバコを吸っていることです。ドイツは環境配慮に気を遣っている国かなと思っていたので意外でした。一方で、道の至る所にゴミ箱が設置されていて、その数は日本に比べて圧倒的です。しかし、駅の周りは特にゴミが落ちていて、どこでも捨てられるからこそ、綺麗にする意識が薄くなっていたりするのかなとも感じました。